



神戸大学

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1
学務部入試課 TEL 078-803-5238
https://www.kobe-u.ac.jp/

神戸大学

Kobe University



「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点」の形成を使命に、世界を牽引する総合大学を目指す



ふじさわまさと
藤澤正人学長

1989年神戸大学大学院医学研究科博士課程修了。神戸大学大学院医学研究科教授、同大学医学部附属病院院長、医学研究科長などを経て2021年より現職。

SUMMARY

世界に開かれた国際港湾都市・神戸に位置し、「学理と実際の調和」を建学の精神に掲げ発展を続ける神戸大学。「人文・人間科学系」「社会科学系」「自然科学系」「生命・医学系」の4つの学術系列を核に、ノーベル生理学・医学賞をはじめ、数多くの輝かしい業績を残し、有為な人材を輩出しています。

さらなる飛躍に向け、長期ビジョン「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点」のもと、世界水準の研究拠点「デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク (DBLR)」を推進。さらにAI・データサイエンス、医工連携、経済数理データ科学など、社会のニーズに即した、未来を切り拓く人材の育成を目指しています。

01 国際都市・神戸から世界へ教育・研究体制強化に取り組む

国際戦略港湾・神戸にキャンパスを構える神戸大学は、開放性と国際性に富み、進取と自由の精神が息づく総合大学です。前身の神戸高等商業学校以来の「真摯・自由・協同」の精神を受け継ぎ、「学理と実際の調和」を建学の理念として、多様な社会課題の解決に貢献してきました。

こうした礎を背景として、藤澤正人学長は2021年の就任以来、「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点」をビジョンに掲げ、大学改革を力強く推進しています。

「資源に乏しい日本にとって最も重要なのは人材であり、科学技術の進歩です。これまで本学は神戸市との間で大学都市神戸産官学プラットフォームの強化を図り、自治体や産業界などとの産官学連携の推進に取り組んできました。今後も社会が大学に何を求めているかを見極め、大学の研究・教育体制を構築し、博士などの高度人材の養成を進めるとともに、女性、外国人留学生や教員などさまざまな人材を受け入れ、多様性・多文化共生の時代を牽引します」と語る藤澤学長。2025年には「インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター」を開設し、ジェンダー平等やダイバーシティの推進、障害のある学生の修学支援などにも取り組んでいます。

02 新しい価値を創造し、未知の課題に挑戦できる人に

人口減少や急速な技術革新が起きている中で、新しい価値を創造し、未知の課題に挑戦できる高度専門人材が求められています。神戸大学ではそのような人材を育てるべく、学部・大学院教育改革に取り

03 DBLRを核に世界水準の研究を展開

を解決する力です。新専攻（コース）では理系の要素はもちろんのこと、政治や経済といった文系的な要素も重視し、高度な専門性と幅広い視野を兼ね備えた、社会で即戦力として活躍できる人材を育成します。

世

界をリードする研究大学として高い評価を集める神戸大学は、2022年に「バイオものづくり」「先端膜工学」「医工学」「健康長寿」「社会システムイノベーション」という5分野を結集した研究拠点群「デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク (DBLR)」を開設。外部からの資金を獲得して研究・教育の強化やさらなるスタートアップ企業の創出につなげ、大学と社会の間で「知」「人材」「資金」が好循環する経営成長戦略モデルの確立を目指しています。

このうち、「バイオものづくり共創研究拠点」では、SDGsの実現を目指し、持続可能な資源から製品を製造するバイオものづくり技術の開発を推進。日本で唯一の膜工学の総合的研究開発拠点である「先端膜工学研究拠点」も、カーボンニュートラルの実現を可能にする技術開発などで成果を上げています。さらに、未来医工学研究開発センターや国際がん医療・研究センター (I-CORC)、医学部附属病院、医学系研究科医療創成工学専攻などと連携・協働して医療機器開発を行う「医工学研究拠点」は2024年新設のメドテックイノベーションセンター (MIRC) を活用し、医療機器開発の総合知の創出と産業活性化に取り組んでいます。「新たな産業創出に向け、本学発のスタートアップの育成に努めています。アントレプレナーシップ教育体制を充実させ、地域に根差し



大学院海事科学研究科附属練習船「海神丸」

組み、時代ニーズに合った魅力あるカリキュラムを整備しています。

昨年4月に新設したシステム情報学部では、システム情報学の専門知識を1年次・2年次中心に修得したのち、3年次以降に目的意識を持って教養科目を学ぶ授業カリキュラム（反転教養教育）を導入しています。

また同年に新設した、医学と工学の融合による医学部医療創成工学科では、大学院医療創成工学専攻との一貫教育を通じて、次世代の医療機器開発を担う実践的人材を育成します。

さらに今春は、医学研究科と保健学研究科を統合した「大学院医学系研究科」を新設し、医師や看護師など職種の壁を越えて、生命医学系分野の幅広い課題に対応できる人材の育成に取り組んでいます。

こうした中、2028年4月には経済学部にて「経済数理データ科学コース」を新設予定で、理系的素養を重視する学部入試（英数選抜・理系型入試）を導入します。これに先立ち、2027年4月には大学院経済学研究科に、経済学とデータサイエンスを掛け合わせた文理融合の「経済数理データ科学専攻」（修士課程、入学定員15人）の新設を予定しています。

DX化やAIが急速に進展する時代に求められるのは、データを活用して社会や経済の課題

04 君に寄り添い、ともに未来を創る

世界に誇れる全学的なグローバル・イノベーションキャンパスを構築します」（藤澤学長）

神

戸大学には全学的な同窓会組織である「神戸大学校友会」があり、One Kobe Familyとして、神戸大学の

在校生や教職員、卒業生、保護者などのステークホルダーが交流し、絆を深めることで、一体感のあるコミュニティの形成を目指しています。「本学では、大きな夢と高い志をもち、学修に励みたいという皆さんを歓迎します。未来を思考する鋭い感性、判断力と思考力、そして自主的な実行力を高めてください。この思われた土地と素晴らしい教育・研究環境を備えた神戸大学で、学問への好奇心と情熱を失うことなく、未踏の道を行進してほしいと思います。その挑戦を通して、皆さんの能力や知識は磨かれます。その磨かれた点の積み重ねは、将来必ず線としてつながり、あなただけの道を創り、素晴らしい未来を拓くことになることでしょう。神戸大学は、いつも愛情と優しさをもって、学が皆さんに寄り添い、ともに未来を創ります」と、藤澤学長は語ります。



百年記念館からは神戸の街並みが一望できる

■充実した学びのプログラム

神戸大学では、数理・データサイエンス・AI教育として、文系・理系を問わず、全学部を対象とした段階的な教育プログラムを提供しています。全学部の1年生必修科目の「データサイエンス基礎学」では、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」である数理・データサイエンス・AIのリテラシーレベルを学びます。続く応用基礎レベルでは、数理・データサイエンス・AIを自らの専門分野に応用するための基礎力が習得できるように設計しています。

また、グローバル化とデジタル技術の進展に伴い、異文化コミュニケーションに必要な言語能力と深い文化理解の重要性も高まっています。神戸大学では、世界52カ国・地域、266校の協定大学との交換留学、海外外国語研修、神戸グローバルチャレンジプログラムなど多彩な海外留学プログラムを提供しています。

PICK UP システム情報学の拠点「情報価値創造教育棟」が完成



神戸大学では、AI・データサイエンスをはじめとする高度情報専門教育の充実と、分野横断による価値創造教育の推進に取り組んでいます。社会課題の解決と新たな価値の創出に貢献できる人材の育成を目指し、その教育研究を支える中核拠点として本教育棟を整備し、高度情報専門教育と価値創造教育、それぞれの特色を生かしながら「グローバル・イノベーション・キャンパス」の実現を支えます。1階には分野を超えた交流の場である「バリュースクール (V. School)」。2～4階にはシステム情報学部・研究科の教育研究空間を整備。吹き抜けるフリースペースは、学生が集い、自習やグループワーク、交流など、それぞれの学びを深める開放的な空間。最上階のリフレッシュラウンジからは神戸の街並みや海を一望できます。